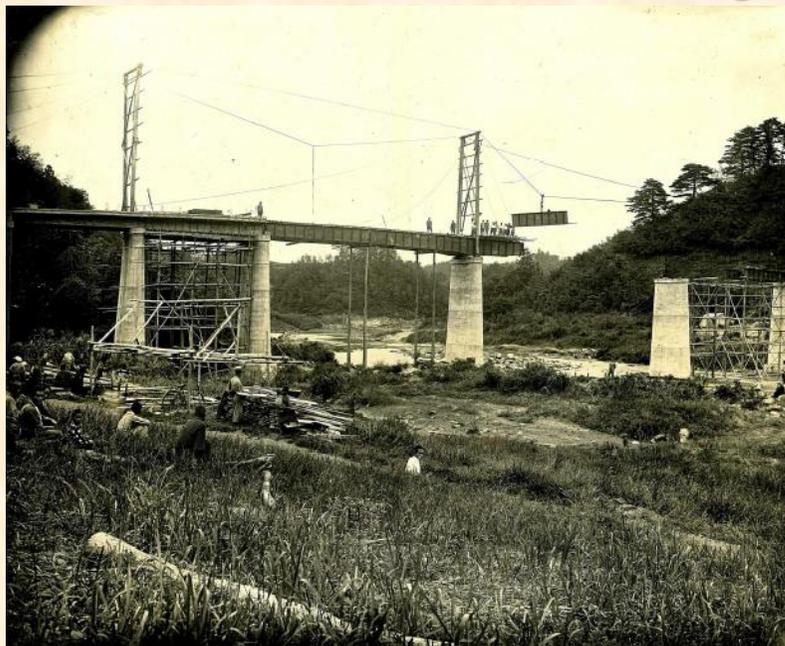


昭和10年頃の姿（戦前）

①



②

↑ 新飯野橋完成まで明治舟場として、渡し船の往来があった場所でした。



③

↑ 橋りょう床版の鉄筋組立完了時の写真。

平成30年の姿



※昭和12年完成の新飯野橋は、約60年の役目を終え平成14年に撤去されました。代わりに、約300m程上流側に新しい新飯野橋が平成12年に架けられました。

【当時の写真の概要】

写真①は、阿武隈川にかかる福島市飯野町明治地内の新飯野橋の架設状況です。写真②のように、この場所は、江戸時代から昭和十二年の新飯野橋完成時まで、明治舟場として当時の伊達郡明治村と安達郡下川崎村を渡し船で行き来する場所でした。【参考：明治舟場記念碑】

【当時の写真より気づいた点】

- 橋の先端に大勢の作業員が立ち、危険を顧みずに命懸けで作業をしているようすがわかる（写真①）。
- 写真③の精緻な鉄筋組立の状況より、当時から巧みな職人の技術があったことがわかる。

【当時を知る人からのひと言】

「渡し船での往来に比べ、橋ができて大変便利になった」